

「強く思い続けることが大切」

学生卒業設計コンクール

日本建築家協会(J 回吉岡賞)や「WADA IA」長野県クラブは賞2016」の受賞経 2月18日、松本市美術館 験を持つ建築家の中山 館で長野県学生卒業設 英之氏が務めた。

計コンクールを開催し 大学部門では、信州 だ。県内で建築を学ぶ 大学の平岡和磨さんが 学生の卒業設計作品の 金賞に輝いた。平岡さ 設計コンセプト・模型・ ンの作品タイトルは「取 パネルなどを公開審査 り壊される商店街にス じ、大学、専門学校、高 タジアムを挿入する」。 校の3部門の作品に 地元の商店街にシャッ ター街が増えている現 状を解決するため、商 店街にサッカースタジ アムを挿入することで、 地域に賑わいを取り戻 した。



大学部門金賞の平岡和磨さん

す建築プランを提案し

平岡さんは「とにかくサッカースタジアムが好き。ヨーロッパのような、町と一体的になっているスタジアム

をいつか設計したいです。ね」と笑顔を見せた。と話した。「空港がすごい。講評では、中山氏は「平岡さんの『自分はサッカースタジアムが好きで好きでたまらない』との言葉を聞いて、金賞をあ

取り壊される商店街にスタジアム

大学部門の平岡さん 賑わい取りもどすプラン提案

紹介。「自分が何をくりたいのか、何を建築でやりたいのかを強く思い続けることが大切」と学生らに伝えた。

高校部門では長野工業高校の中山陸さんがタイトル「感情を共有する空間#weeding」で、専門学校部門では上田情報ビジネス専門学校の神田理奈さんと中村早希さんがタイトル「北斗のよつば」で金賞を受賞した。



専門学校部門で金賞の中村早希さん(左)と神田理奈さん



高校部門金賞の中山陸さん